

ふれあいかんだより

7

かわさきし
川崎市ふれあい館

くじょうかいけつせきにんしゃ
苦情解決責任者
ちえ かんいちゃ
崔 江以子
すずき けん
鈴木 健

かわさきしかわさきさくらもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

かわさきしよかん
川崎市所管
みらいきよせいしやうねんしえんしつ
こども未来局青少年支援室 (Tel 044-200-3083)

2025.7.1

No.435

子育て講座を実施しました。



5月22日(木)に地域子育て支援センター「ろば」で「わらべうたベビーマッサージ」講座を開催しました。3組の親子が参加してくださいました。マッサージ前の絵本読み聞かせからおかあさんもお子さんもリラックスできているようでした。「ろば」は妊娠中から就学前まで遊べます。月齢に応じてイベントを企画しますので、リクエストをお寄せください。

ボランティア入門研修がはじまりました。



5月16日(金)から教育文化会館と合同で日本語ボランティア入門研修が始まり17名が参加しています。川崎市の歴史や「識字学級」が始まった背景、外国人市民と共に学ぶボランティアとしての心構えから実践を見据えた活動方法まで、実際の識字学級の様子を見学・体験しながら、様々なテーマで学んでいます。グループワークで参加者同士の交流も深まり、リラックスした雰囲気の中で活発に意見が交わされています。「早く活動に参加してみたい!」といった声もあり、識字学級の取り組みに賛同し、ふれあい館で一緒に活動してくださる方が増えたら嬉しいです。

2年ぶりの再会をしました。



5月21日(水)京都の宇治市ウトロ地区のオモニ(おかあさん)たちが桜本のハルモニ(おばあさん)たちと交流会をしました。2023年にハルモニがウトロに訪問し、「今度は私たちが行きます」と再会の約束をし、ようやく叶うことができました。マイクロバスに乗り8時間かけてきたのにも関わらず元氣いっぱい農楽の披露をし、ハルモニも負けじと民謡や舞踊で再会を喜び合いました。お互いの被差別体験や生活苦を理解し合える関係だからこそ強くつながり、再会することができました。「次はウトロで会いましょう」と交流会を終えました。

ふれあい館 7月の予定

こども部門 子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

七夕撮影会	7日（月）	10:30～11:00	七夕にちなんだフレームで記念撮影ができます。
Caféろば	9日（水）	10:30～11:30	ろばでおしゃべりしながらお茶しませんか？
ぴよぴよタイム	14日（月）	10:30～11:00	身長・体重を測れます。大きくなったかな？

水あそびが始まります

7月10日（木） 16日（水） 23日（水） 24日（木） 29日（火） 31日（木）

10時15分～11時30分まで（30分交代制）で1回4組で遊べます。水着・着替え・タオル・水分を用意してください。おむつが取れていない子は水遊び用のおむつを用意してください。

熱中症警報が出ているときは中止となります。

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

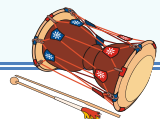
●小中学生プログラム・・・ 他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより（あそぼ）をみてね

おにぎりキャラバン	30日水曜日	1時～	参加費無料 小中学生の参加待ってます！ おにぎりをつくり
-----------	--------	-----	------------------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月（あそぼ）があります。

●民族文化サークル

舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時～5時	毎週火曜日の放課後に活動しています。
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時～6時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
子どもチャンゴ	毎週 金曜日	4時～5時30分	毎週金曜日の放課後に活動しています。



●中高生の活動

小・中学生学習	毎週 火・水・木曜	7時～9時	主に新渡日外国人の小・中学生（水曜日・土曜日）、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生（火曜日・木曜日）の基礎学力保障のための学習会
サポート	毎週土曜	1時～3時	

たぶんかこうりゅうがっきゅう
多文化交流学級

しきじがっきゅうさんか がくしゅうしゃ きょうどうがくしゅうしゃ みな ころりゅうかい おこな
識字学級に参加している学習者&共同学習者の皆さんとともに、交流会を行います！
がくしゅうしゃ みな にほんご べんきょう せい か じぶん とく い はっぴょう よてい かつどう
学習者の皆さんが日本語の勉強の成果や自分の得意なことを発表する予定です。活動をの
ぞいてみませんか？

にちじ ねん がつ にち か かいじょう かわさきし かん かいぎしつ
日時： 2025年7月15日（火）10:00～11:30 会場：川崎市ふれあい館 会議室
さん か ひ おりょう もうしこみ でんわ らいかん う つ
参加費：無料 申込：電話か来館で受け付けています。044-276-4800
しゅさい かわさきし かん かわさきしきょういくいんかい
主催：川崎市ふれあい館、川崎市教育委員会

ねんどじんけんちがうきゅう せんご ねん みらい せんぜん せんご ひ つ
2025年度人権尊重学級part1 戦後80年～未来に戦前ではなく戦後を引き継ぐために～

がつ にち ど
7月26日（土）
じ じ
16時～18時

おきなわ せんそう いま み
沖縄の戦争と今を見つめる

あ べ たかし
阿部岳さん
おきなわ きしや
（沖縄タイムス記者）

がつ にち ど
8月2日（土）
じ じ
16時～18時

せんそう にんげん せんげん
戦争と人間の尊厳
こくないがい しゅざい かんが
一国内外の取材から考えるー

やすだ な つ き
安田菜津紀さん
（フォトジャーナリスト）

がつ にち ど
8月23日（土）
じ じ
16時～18時

かわさき ざいにち せんご ねん
川崎の在日コリアンの戦後80年から
きょうせいしゃかい かんが
共生社会を考える

み う ら と も ひ と
三浦知人さん
しゃかいふくしほうじんあおかしや
（社会福祉法人青丘社
りじょう
理事長）

ばしょ かわさきし かん さくらもと
場所 川崎市ふれあい館 桜本1-5-6

もう じ
申し込み fureaikan@seijyu-sha.com 044-276-4800 ※事前申し込み制です。

しゅさい かわさきし かん かわさきしきょういくいんかい
主催 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

しきじがっきゅう
●識字学級

ようび 曜日	まいしゅう かようび きんようび 毎週 火曜日・金曜日	さん か ひ おりょう きょうざいひ じつび 参加費 無料（教材費は実費）
じかん 時間	10:00～11:30	

こうれいしゃ ざいにちこうれいしゃ せだい みんぞく むす こうりゅうじぎょう こうれいしゃ せいかつそうだん
●高齢者 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

ざいにちこうれいしゃこうりゅう かい
在日高齢者交流クラブ「トラジの会」

ざいにちこうれいしゃ じしゅかつどう かんせんよぼう かつどう じ ふん
在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分
から活動しています。しょうさい そうだん でんわ
詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

●「あれから10年ハルモニの活躍を記憶に残すかわさきのハルモニの作文と絵と写真の展示会」

●7月8日(火)～7月13日(日) 東海道かわさき宿交流館 3階・4階廊下 (川崎区本町1-8-4)

作品と写真の展示と開催されるイベント

8日(火)～11日(金) 14時～15時「世代と民族をつなぐ語り」

12日(土) 14時～「ハルモニとの交流会」※参加費500円

13日(日) 10時～「花はんめ」上映会

問い合わせ fureaikan@seikyu-sha.com 044-276-4800

主催 社会福祉法人青丘社 共催 東海道かわさき宿交流館



▼ハルモニ・セラピーということばがある。韓国では、「ハルモニ(おばあちゃん)の前で「お腹すいた」と言

うのは禁忌」という認識がある。想像以上に食べさせられるからだ。しかし、ハルモニのせいでお腹がいっぱいになっても、苦しいけれど、なぜか心は励まされる。それはハルモニの「食べさせる」という想いが、「こどもたちが腹いっぱい、力いっぱい生きるために必要な最低限のこと」であることを、私たちはわかっているからである。そうだ。ハルモニの想いには「生きる力」が入っている。▼推測に過ぎないが、戦後の日本で朝鮮半島出身者の女性として生きてきたハルモニたちにとって、「何とかして食べさせる」ことはとても重要であったと思う。そして「こどもたちのお腹を満たすために」、お母さんたちはもっとももっと強くならなければいけなかったであろう。▼以前、トラヂの会に参加し、桜本のハルモニたちに出会った。初日なのにもかかわらず、とも

に歌い、踊り、語り、ご飯を食べた。そしてハルモニたちの幼い頃の話聞きながら、明るい話なのになぜか涙がウルウルと、前が見えづらくなった。それはきっと、日本の中で生きた彼女らの故郷を懐かしむ表情が見えたからだと思う。▼涙でウルウルしながらも、心が励まされるのは、ハルモニたちに「生きる力」が込められているからである。「私たちも時代の一部です」というハルモニの言葉には、「そうだ、ハルモニたちも、私も、みんな時代の一部なんだ」と、力が沸く。▼私は、歯を食いしばったハルモニの「力」をトラヂの会で感じる事ができた。その力を感じた瞬間、私は自分を正す事ができた。「まっすぐに生きよう」「腹に力入れて生きよう」と考える事ができた。これが、トラヂの会でしか味わえない「ハルモニ・セラピー」の効果ではないだろうか。▼桜本のハルモニから学ぶ「だれもが ちからいっぱい 生きるために」は、「お腹いっぱい」食べて、一歩を踏み出すための力を得ることではないだろうか。

(W)